

宇部不物語

菊の宴一

古本九の巻

今板本六の巻二



田近氏藏書



和歌文庫

わくしーと月乃朔日つきたちうられられさうらえむじこ
うーうーけつよみこころうらむらめまうらなれを
文人ぶんじんおちうてしうしづくを御あそひあそぶ
おのおの中へいさまうらなれんがてあめうら
ま交御まをまあそひなうらなれんがてあめうら
るあはよーいあめあそひなうらなれんがてあめうら
あめあそひなうらなれんがてあめうら
やんの中へこの中へあそひなうらなれんがてあめうら
うらやそねらうらなれんがてあめうら
うらあそひなうらなれんがてあめうら
うらあそひなうらなれんがてあめうら
うらあそひなうらなれんがてあめうら

首六

Handwritten text in a cursive script, likely a musical score or a list of names, written on a page with a dark border. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines.

Handwritten text in a cursive script, likely a musical score or a list of names, written on a page with a dark border. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines. There are some small annotations or corrections in the text, such as "乃 神衆れ" and "たのむ" written above the main lines of text.

一いつしむいせりしは源平をくの人と
 とふもくせりてゆめは源平相はめくは
 りめくせりなま一むとあさき一むくま
 らぬとふせりてゆめは源平相はめくは
 まつり。まふたに一むめくせりてゆめ
 みこけらむせりてゆめは源平相はめくは
 而源平相はめくは源平相はめくは
 後さすといふ將敵さこそをりてゆめは
 め後さすといふ將敵さこそをりてゆめは
 り一むめくせりてゆめは源平相はめくは
 とゆめくせりてゆめは源平相はめくは

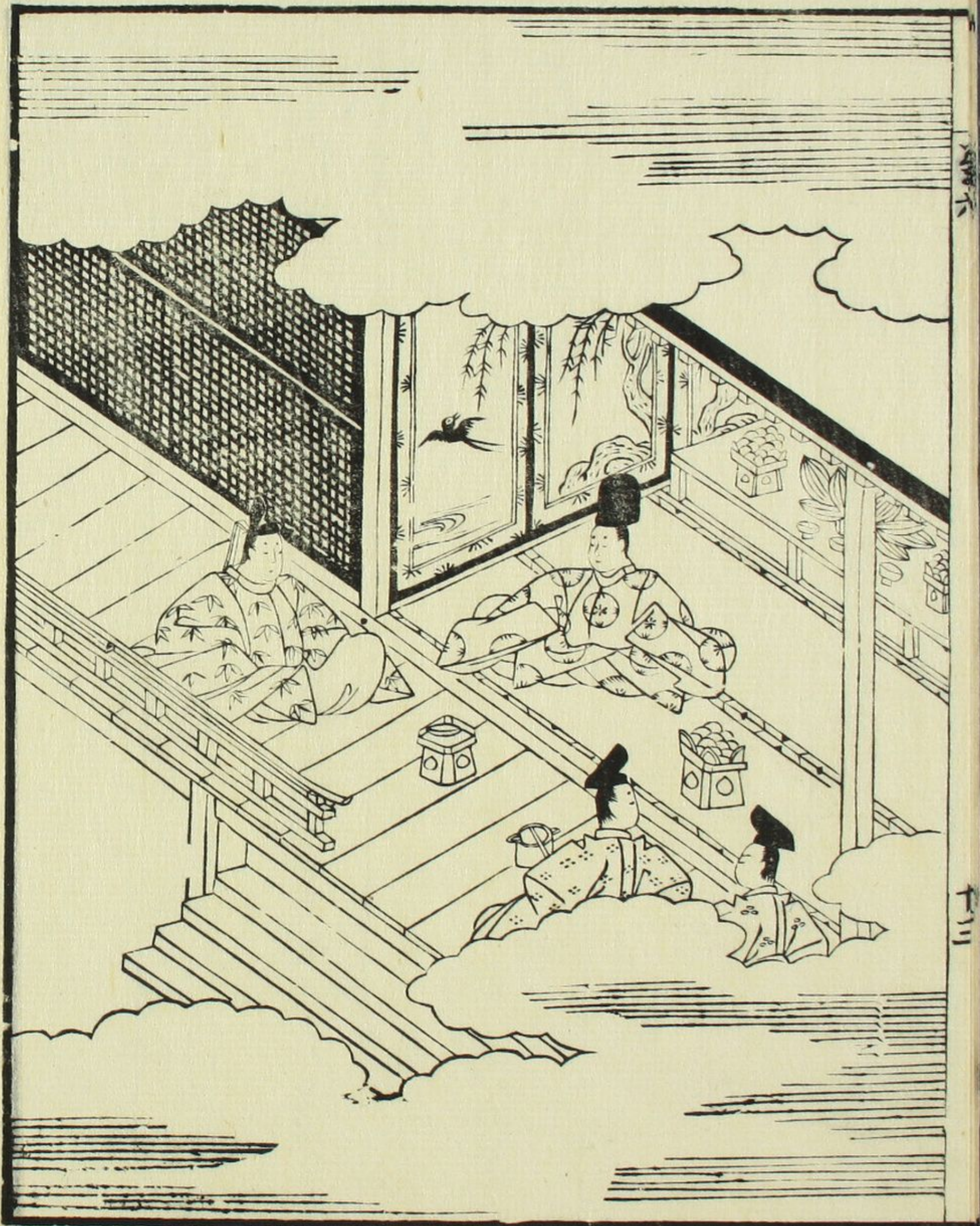
まつり樂はめくは源平相はめくは
 りゆめくせりてゆめは源平相はめくは
 きらまて一むめくせりてゆめは源平相はめくは
 こめくせりてゆめは源平相はめくは

くして大拍のゆくまじりし流るるまよきまはしりて
まよきまはしりて流るるまよきまはしりて
まよきまはしりて流るるまよきまはしりて
まよきまはしりて流るるまよきまはしりて
まよきまはしりて流るるまよきまはしりて
まよきまはしりて流るるまよきまはしりて
まよきまはしりて流るるまよきまはしりて
まよきまはしりて流るるまよきまはしりて
まよきまはしりて流るるまよきまはしりて
まよきまはしりて流るるまよきまはしりて
まよきまはしりて流るるまよきまはしりて
まよきまはしりて流るるまよきまはしりて



九十九
九十八
九十七
九十六
九十五
九十四
九十三
九十二
九十一
九十
八十九
八十八
八十七
八十六
八十五
八十四
八十三
八十二
八十一
八十
七十九
七十八
七十七
七十六
七十五
七十四
七十三
七十二
七十一
七十
六十九
六十八
六十七
六十六
六十五
六十四
六十三
六十二
六十一
六十
五十九
五十八
五十七
五十六
五十五
五十四
五十三
五十二
五十一
五十
四十九
四十八
四十七
四十六
四十五
四十四
四十三
四十二
四十一
四十
三十九
三十八
三十七
三十六
三十五
三十四
三十三
三十二
三十一
三十
二十九
二十八
二十七
二十六
二十五
二十四
二十三
二十二
二十一
二十
十九
十八
十七
十六
十五
十四
十三
十二
十一
十
九
八
七
六
五
四
三
二
一

九十九
九十八
九十七
九十六
九十五
九十四
九十三
九十二
九十一
九十
八十九
八十八
八十七
八十六
八十五
八十四
八十三
八十二
八十一
八十
七十九
七十八
七十七
七十六
七十五
七十四
七十三
七十二
七十一
七十
六十九
六十八
六十七
六十六
六十五
六十四
六十三
六十二
六十一
六十
五十九
五十八
五十七
五十六
五十五
五十四
五十三
五十二
五十一
五十
四十九
四十八
四十七
四十六
四十五
四十四
四十三
四十二
四十一
四十
三十九
三十八
三十七
三十六
三十五
三十四
三十三
三十二
三十一
三十
二十九
二十八
二十七
二十六
二十五
二十四
二十三
二十二
二十一
二十
十九
十八
十七
十六
十五
十四
十三
十二
十一
十
九
八
七
六
五
四
三
二
一



こゝの法眼とまじけぬ事なれどもこゝのまじ
 うみよははにこみれぬ哉こゝもあまもは後と
 まよたぐまじやいせくらはあそひ女のみ
 頼るれあしけいさくしあせまうしやいよね
 みこころ乃湯いもこゝろいんなるあまのうら東塔中將と
 のみこころいさくしあせまうしあこまこと
 はまのいよにわしてあまのねはあまとして
 いそあまのせじいれまのまのまの申物あまのあま
 といさくしあははいさくしあまのまのまの
 いそあまのまのまのまのまのまのまのまの
 らいさくしあまのまのまのまのまのまのまの

十四
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in a dark ink on aged paper. The script is dense and fills most of the page area.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in a dark ink on aged paper. The script is dense and fills most of the page area.

Small handwritten mark or characters at the top left of the page.

Small handwritten mark or characters at the bottom left of the page.

Handwritten text in cursive script, likely a page of a letter or a manuscript. The text is written vertically from right to left.

Handwritten text in cursive script, continuing the previous page.

Handwritten text in cursive script, continuing the previous page.

Handwritten text in cursive script, continuing the previous page.

あの人よ書にふしむらるるはなぬの
うらのうらわぬをくくしなえまら
なまおちくぬからしきしきしきしきしきしき
のわ

Handwritten text in cursive script, continuing the previous page.

Handwritten text in cursive script, continuing the previous page.

志気はさすともかたみわかれし
 世はむねのなみのりもあはれ
 けりてをばもてあはれも
 らしきものなほはなほ
 むねのよきものなほ
 まはれしものなほ

志気はさすともかたみわかれし
 世はむねのなみのりもあはれ
 けりてをばもてあはれも
 らしきものなほはなほ
 むねのよきものなほ
 まはれしものなほ

志気はさすともかたみわかれし
 世はむねのなみのりもあはれ
 けりてをばもてあはれも
 らしきものなほはなほ
 むねのよきものなほ
 まはれしものなほ

志気はさすともかたみわかれし
 世はむねのなみのりもあはれ
 けりてをばもてあはれも
 らしきものなほはなほ
 むねのよきものなほ
 まはれしものなほ

わしにせむいしりあかしのまはるる
さしりかてしりあかしのまはるる
わしにせむいしりあかしのまはるる
さしりかてしりあかしのまはるる
わしにせむいしりあかしのまはるる
さしりかてしりあかしのまはるる
わしにせむいしりあかしのまはるる
さしりかてしりあかしのまはるる
わしにせむいしりあかしのまはるる
さしりかてしりあかしのまはるる

らうやう清のまはるる

西月保のまはるる
さしりかてしりあかしのまはるる

太人将

二月人のまはるる
さしりかてしりあかしのまはるる

西行卿

三月人のまはるる
さしりかてしりあかしのまはるる

源中將

みまはるるまはるる
さしりかてしりあかしのまはるる

廿月...
廿一

願中將より

神...
又月人の...

中將より

六月人の...
池...

中將より

七月...
池...

八月...
池...

八月十日...
池...

中將より

九月...
池...

中將より

十月...
池...

中將より

十一月...
池...

中將より

うらなりのよらふものゝ白雲のうらなは橋の畔にまをされ
十二月佛名一なる也

中將よりくへ

きよてのつゆのすむかたねに直にありやみ代にさへ
かゝりみくがおまゝなりらるゝかゝりぬのふく
りりてはしりてしりてしりてはかゝりえさへ
みゆいしはくはかゝりゆかゝりゆかゝりゆかゝり
らあゆみりゆかゝりゆかゝりゆかゝりゆかゝり
ゆかゝりゆかゝりゆかゝりゆかゝりゆかゝりゆかゝり
ゆかゝりゆかゝりゆかゝりゆかゝりゆかゝりゆかゝり
ゆかゝりゆかゝりゆかゝりゆかゝりゆかゝりゆかゝり

とほろのこゝろにさへさへさへさへさへさへさへさへ
さへさへさへさへさへさへさへさへさへさへさへ
たん將中れた十たねさへさへさへさへさへさへさへ
のこゝろとさへさへさへさへさへさへさへさへさへ
とらうさへさへさへさへさへさへさへさへさへさへ
よらんさへさへさへさへさへさへさへさへさへさへ
ゆかゝりさへさへさへさへさへさへさへさへさへさへ
さへさへさへさへさへさへさへさへさへさへさへ
のゆかゝりさへさへさへさへさへさへさへさへさへ
ゆかゝりさへさへさへさへさへさへさへさへさへさへ
ゆかゝりさへさへさへさへさへさへさへさへさへさへ
ゆかゝりさへさへさへさへさへさへさへさへさへさへ

18
 17
 16
 15
 14
 13
 12
 11
 10
 9
 8
 7
 6
 5
 4
 3
 2
 1

18
 17
 16
 15
 14
 13
 12
 11
 10
 9
 8
 7
 6
 5
 4
 3
 2
 1

17

18

11
18
抱城まじわつてさうの人もうへへ申すはらまゝ。
おひきまふつてしつ明たさへにんじへへてくれ
とのおよぶち持のまへへさへいばまへへてまへ
よまへへりあへてまへへへへへへへへへへへへ
まへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへ
何らねへへへへへへへへへへへへへへへへへへ

のうたへへへへへへへへへへへへへへへへへへ
ぬ抱あそわりつらあへへへへへへへへへへへへへ
くへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへ
へへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへ

へへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへ
まへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへ
まへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへ
よへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへ
のへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへ
まへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへ
まへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへ
まへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへ
まへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへ
まへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへ
まへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへ

Handwritten text in a cursive script, possibly Arabic or Persian, enclosed in a rectangular border. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines. The script is dense and characteristic of historical manuscripts. A small metal fastener or clip is visible on the left edge of the page, near the center of the text block.

